

“ふじのくに”士民協働事業レビュー結果

施策(中柱)	次世代産業の創出
--------	----------

1 基本情報

実施日/班名	9月8日 第2班	時間	15:40~16:44
--------	----------	----	-------------

2 レビューの結果 今後の方向性

結果	事業名	重点化	縮小
	新規産業立地事業費助成	4	6
	地域産業立地事業費助成	5	5
	工業用地開発可能性基本調査事業費	1	21
	ファルマバレープロジェクト推進事業費	10	2

3 県民評価者の意見

(1)見直し・改善策

- ・ファルマバレープロジェクト推進事業は効果が高いので、実施すべき。
- ・新規事業も必要かと思われるが、継続事業の見直し、実績評価の検討を！
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費は、内容的に薄い印象だったので、縮小し、違う事業に予算を回した方が良い。
- ・「ものづくり」や「ものづかい」の産業振興の新たな事業の工夫が必要ではないか。
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費の は、その分の予算を今は県内企業を守るために使うべきである。
- ・新規産業立地事業費助成も県外 県内へ、国外 県内というのは理想的だが現在静岡が置かれている現状には合っていない。
- ・ファルマバレープロジェクト推進事業費は、大切な部分だと思うので でも良いと思うのですが、現在の形はベストではないと思う。県税を使うということは、広く県民（中部、西部を含め）に利益が渡るような形にするべきである。
- ・ファルマバレープロジェクト推進事業費は高齢化にともない、目に見える効果が高いので重点的に実施すべき。
- ・回復基調にあると言われている現在は、リーマンショック以前の情勢とは異なるので今の時代にあった（あうように）事業展開をして欲しい。（特に企業立地の促進）
- ・もっと県、市、町、村が盛り上がる事業展開が欲しい。
- ・今後も、効果が分かる実績管理報告が必要である。
- ・新規産業立地事業：新しい産業が誘致できる方法を再考してほしい
- ・事業番号20（ファルマバレープロジェクト推進事業費）はこれからの国民の高齢化に伴い重要なもので強力に推進すべき。ただし、活動指標にある調査、訪問にはそれに携わる県職員が、元0Bによる場合は、過去の例もたとおり、ねつ造だとか癒着につながらない様な厳重な管理が必要。
- ・一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造プロジェクトは夢があって、大変だけど、これからの事業として実施するべきだと思います。
- ・ファルマバレープロジェクト推進に同意します。健康産業は日本にとっても大変重要な位置にあると思われる。静岡がんセンターとマッチして推進したらよい。
- ・工場誘致にあたって、専門学校等を作って、就職すべきだと思う。
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費は企業誘致の向上には効果が高いので重点的に実施すべき。用地開発にはもっと力を入れるべきだと考える。オーダーメイド方式だけでなくレディメイド方式もとり入れてはどうか。

- ・ファルマバレープロジェクトは重点を置くべきだと思います。医療関係は今後有望な業界と思われるので積極的に事業を進めるべきだと思います。但し、官がプロジェクトに参加する時に専門知識を持っている人が担当しないと逆に商品開発のスピードが落ちる事になりマイナスと思います。
- ・効果という以前に、私個人の意見では、私企業に直接補助金等を投入すべきではないという意見をもっている。
- ・用地取得、開発ということでは民間ではスピード的に遅れる。浜松市の事例、今後の景気により変化する可能性はあるが、工業用地、産業用地の開発を新たに事業化する必要がある。
- ・県外、国外からの新規立地でない話が討議の中心だったので、2つの立地事業費は縮小すべき
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費についても、ただお金を払うだけの現状では再考をお願いしたい。
- ・県のみ、県と市町で行う企業進出の助成金等についてはワンストップの窓口があってもいいと思う。リーマンショックの頃、市役所、社協、ハローワークで協力してワンストップの窓口を設けたことがある。そのように、制度というハード面だけでなく周知等のソフト面を充実させて企業の進出を進めてほしい。
- ・「工業用地開発可能性基本調査」「新規産業立地事業費助成」は県がやるのであればやり方を再考すべき（適用要件の見直し）
- ・予算計上の時、もっと“投資対効果”を議論して決めて欲しい。
- ・事業番号19（工業用地開発可能性基本調査事業費）は検討を加え見直すべき。
- ・ファルマバレーは実効性ある分野で重点的に実施。
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費は市町でもできると思うので縮小しても良い。
- ・ファルマバレープロジェクトは県民へのアピールをもっとやった方が良い。
- ・企業の海外移転進出に依る空洞化を防ぐ為、有効な補助制度が必要であり、新規産業立地事業と地域産業立地事業助成が同時に可能な制度として頂きたい。（一本化して効率を計るべき）
- ・ファルマバレープロジェクトには将来がある。ファルマバレープロジェクトと他の3つの事業を同等に並べることに無理がある。
- ・もっと新規参入企業の募集、情報のオープン化をしてほしい。
- ・ファルマバレープロジェクトについては、削減できる部分があると思う（特に人件費部分）
- ・地域産業立地事業費助成の事業はレビューでも新規産業立地事業費助成と一緒にできるのではないか。県内全市町を対象にしてほしい。
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費は縮小するべきである。
- ・ファルマバレーは、東部集中なので徐々に県全体に拡大してほしい。ただ、成果の把握ができないのは困ります。
- ・各事業とも効果の表現が分かりにくい。目標等、件数で表すことに無理がある。
- ・新規産業立地事業は相対効果が大きく、一つのもので、雇用を始め県に影響が大きくなると判断される。
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費は、市町、企業が負担すべきで県が補助すべき内容ではないと判断する。
- ・法人事業税、固定資産税など県や市町の税収にも寄与するので継続した方がよい。
- ・ファルマバレーは県全体に広げる方法を考える。

(2)その他の意見

- ・地域の活性化は、市町でまず考え、行動し、立案することから始まると思われる。
- ・現状の産業立地状況を踏まえ、県の助成も受け連携を取り雇用創出を期待する。
- ・専門委員の人の意見や質問で話がわかりました。
- ・雇用問題、なんか生きた金を使っていない気がする。
- ・それぞれの事業である程度の成果をあげているので検討して推進して行ってほしいです。
- ・今回のテーマは難しく、判断するのが大変でした。資料を読んでいてもわかりにくかったです。もっと分かりやすい資料がほしいです。
- ・企業立地の促進は判断基準が少なく、現状のままとした。
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費は企業局の利益のための事業にきこえた。
- ・新規産業立地は予算が多い割には説明不足で検討がもっと必要。
- ・ふじのくに新産業創出プロジェクトは、展望が広がるが、現実に患者は有無をいわず新薬を利用させられ高額な医療費の負担をさせられるはず。結局、医療費が増えて、県に限らず国の財政が医療費で大変なことになり、増税となってしまいう悪循環になる。
- ・各課（説明）ともレビューに合わせる説明資料のため、内容に無理が感じられた
- ・工業用地開発可能性基本調査事業費は民間でも十分できるものであり、企業局存続の為にやっていると思われてもしかたないと感じた。
- ・自己評価を具体的に表示してもらいたい。
- ・新規産業立地事業費助成、地域産業立地事業費助成、ファルマバレープロジェクト推進事業費に 印であるが、無印に近い である。
- ・件数表示に無理があると思われる。
- ・専門委員の指摘がわかりやすかった。資料をもらったときは理解できるかなと思ったが。
- ・県の職員は大変だなと思った。がんばっていただきたい。
- ・初めてこういう席に出させてもらって非常に勉強になった。県の職員にどうしてもこの事業をやりたいんだという熱意が感じられない。もっとプレゼンテーション能力、相手に対して訴えることを勉強された方がよい。
- ・娘が多忙のため代わりに今日は来た。娘からすると政治に対しても社会に対してもレビューに対しても、硬い、難しいというイメージがある。女性の視点、未来のある 20 代、30 代の目線で参加しやすいような環境を作ってほしい。
- ・今回で 3 回目の参加。今までは、最初に結論ありきのような格好で専門委員やコーディネーターが進行していたような感じがした。今回は結論がなしから始まった。我々の責任が大きいなと感じた。
- ・今回の 4 事業は、件数で表せないものを件数で表そうとしたために、評価がまちまちになったり評価ができなかったことがあったのではないかと思う。今後検討していただきたい。
- ・会社がつぶれる、どっかにいってしまう。県営で専門学校等を作って欲しい。